

令和4年度 地域活性化活動助成事業

佐賀小学校を地域の集いの場・学びの場に！

1 はじめに

本校は、後ろに大星山を背負い、前に瀬戸内海を望む、豊かな自然に囲まれた、全校児童50名の小規模校です。

学校運営協議会を中心に、地域のボランティアさんによる登下校時の見守り活動、校地内の環境整備、花壇や学校園の緑化活動、授業支援、読み聞かせ、校内の消毒など、多くの学校支援活動が行われています。

2 佐賀小学校は地域の「集いの場」！

(1) 「ボランティアの日」について

佐賀小学校は、学校支援ボランティアによる活動が充実しています。

「ボランティアの日」には、花壇や学校園、畑にかかわる緑化活動、運動場の除草や樹木の伐採などの環境整備などが行われます。メール配信による連絡やお知らせの掲示、学校の入り口に設置される「手作りののぼり旗」などにより、地域の方が学校に集います。

緑化活動や環境整備は、地域の方だけではなく児童も行います。特に今年度は、「いってみよう植えてみよう佐賀小学校」を企画し、花の苗の定植を、児童と地域の方が一緒に行いました。

学校にみんなが集い、一緒の時間を共有し、花を植え育てる活動を楽しむことは、豊かな心を育むことに結びつきます。

草花に愛情を注ぐこと、自然の恵みに感謝すること、生命の尊さを学ぶことなど、みんなが集う「ボランティアの日」は、郷土愛を育む素敵な「学びの場」にもなっています。



3 学校を地域の「学びの場に」～地域参加型授業～

(1) 4年生外国語活動「I like Mondays」

4年生の外国語活動の授業に、保護者や地域の方に参加していただきました。授業は、「あいさつ」「曜日」「天気」のやりとりから始まりました。学習のめあては英語で曜日の言い方が分かるようになることでした。ALTの発音を聞き、みんなで声を出しました。

最後は保護者や地域の方と一緒に、曜日のカードをとるゲームを行いました。ゲームを楽しみながら、児童は、地域の方とも、



英語でコミュニケーションを図ることができました。

地域の方と英語でやりとりをすると、児童は、地域の方にたくさん誉めてもらえます。「自分の英語は伝わるのかな？」という思いからスタートしたとしても、しっかり誉めてもらえるので、自信がわいてきます。

(2) 6年社会科「平和について考える授業」

6年生の社会科「アジア、太平洋に広がる戦争」の単元で、戦死された方の身元を特定するための印である「認識票」が届いた遺族の方から、沖縄戦のことを学ぶという授業を設定しました。

学校運営協議会会長さんの義理のお父様が沖縄戦で戦死されたこと、その方の認識票がご自宅に届いたということをもとに話をさせていただきました。「認識票」の実物や写真資料も見せていただきました。

教科書や資料をもとに学ぶことも大事ですが、身近な方から実体験を聞いて学ぶことは、大変貴重な学びです。

会長さんは、授業の終わりに、「今の佐賀のみんなのように、仲良く過ごしてほしい。いじめや争いごと、仲間外れは、絶対にしてはいけない。」そして「しっかり相手の話を聞くこと。自分の主張もすること。」と6年生児童に語ってくださいました。

今回は、ゲストティーチャーとして運営協議会会長さんを講師として授業を計画しました。保護者や地域の方も参加され、平和の尊さについてみんなで考える貴重な学びとなりました。



4 終わりに

この地域活性化事業の報告のまとめとして、「ボランティアの日」「4年生外国語活動」「6年生社会科」の3つを取り上げました。

3つの事例とも、身近な大人が学校に集い、時間を共有し、児童と共に学びに励んでいます。また、ゲストティーチャーとして来ていただいている方は、地域の方や保護者の方です。

今後も「集いの場」「学びの場」として学校の機能を充実させていきたいものです。